

安城学園高等学校 同窓会会則

2014.02.19

■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。
又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 - 1 会員の互助
 - 2 会員名簿の整理
 - 3 母校が行う事業への協力
 - 4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦
 - 5 その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。

正会員

 - 1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生
 - 2 安城学園女子高等学校卒業生
 - 3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生
 - 4 安城学園高等学校卒業生

特別会員

教職員及び旧教職員

■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。

1 顧 問	若干名
2 会 長	1名
3 副 会 長	若干名
4 事務局長	1名(副会長が兼任)
5 幹 事 長	1名
6 書 記	4名
7 会 計	2名
8 監 査	2名

- 第7条 本会に学外・学内代表幹事を若干名置く。
- 第8条 本会の役員を選出は、次の方法で選出する。

- 1 顧問は、安城学園長・同理事長、勿忘草会会長、安城学園高等学校長とする。
- 2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。
- 3 副会長は、2項に同じとする。
- 4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。
- 5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。
- 6 書記は、5項に同じとする。
- 7 会計は、5項に同じとする。
- 8 監査は、5項に同じとする。
- 9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。
- 10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第9条 本会の役員、幹事には次の任務がある。
 - 1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。
 - 2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行
 - 4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。
 - 5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示
 - 6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷
ロ 各会の議事録作成と保管
ハ 会報の発行等
 - 7 会計は、本会の経理事務を処理する。
 - 8 監査は、会計事務の監査に当たる。
 - 9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。

- 第10条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

■第5章 会 議

- 第11条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。
 - 1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。
 - 2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。
 - 3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

■第6章 会費及び会計

- 第12条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。
- 第13条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。
- 第14条 本会は、入会金、会費をもって運営する。
- 第15条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。
- 第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
- 第17条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

■第7章 通信及び事務

- 第18条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。
- 第19条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

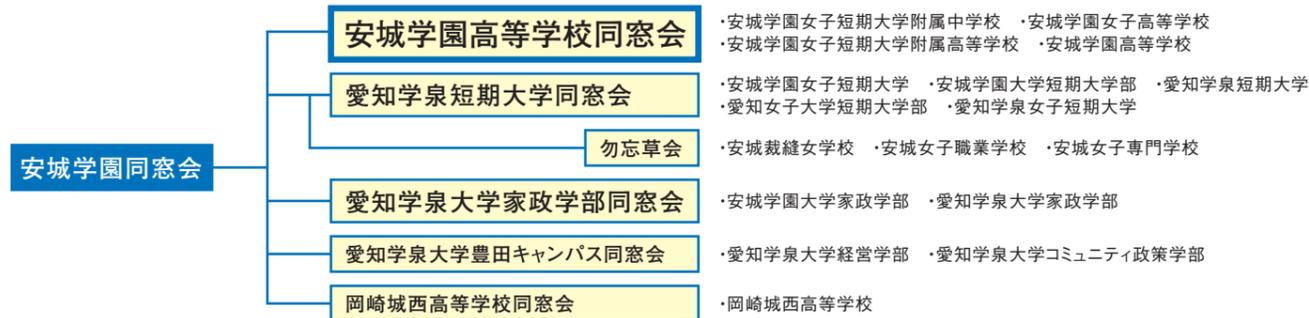
■第8章 支部会について

- 第20条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

■第9章 付 則

- 第21条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。
- 第22条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。
 - ・本会則は、平成16年10月24日より実施する。
 - ・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。
 - (但し、第5章 会費 は平成22年度より改正)
 - ・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。

組織図



安城学園高等学校 同窓会会報



発行日 2014年2月19日
発行所 安城学園高等学校同窓会
〒446-8635
安城市小堤町4-25
TEL.0566-76-5105
FAX.0566-72-2808
[E-mail] info@angaku.jp

お祝いの言葉



新入会員の皆様へ お祝いの言葉「輪」を大切に

未来への一コマを歩き始められた卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。安城学園高等学校同窓会入会ありがとうございます。創設者寺部だい先生は、「最初の一コマは、未来永劫のあり方とその運命を意味する最も大切な一コマである」と、昭和32年発行された『安城学園45年史』の巻頭言に書かれています。

この同窓会は、平成16年3月、安城学園同窓会「勿忘草会」が解散し、平成16年10月24日高等学校の部が独立、「安城学園高等学校同窓会」として設立されました。昭和24年3月「勿忘草会」の高校の同窓生は、65名でした。平成25年3月は、約31,800人となりました。昨年の世相を表す漢字1字の「輪」のように、同じ学舎、同じ建学

安城学園高等学校同窓会
会長 鶴田 紀美子

の精神で育った同窓会の仲間こそ輪で繋がっているものであり、会員のご協力にて、今年も卒業生の皆さんに同窓会会報『おもいでぐさ』6号をお届けできますこと、大変うれしく思います。会報『おもいでぐさ』のタイトル名は、卒業生の皆様も拝読された寺部だい先生の自叙伝の題名から、引き継がせていただいています。会員の皆様、今日のこの日の一コマから、同窓生の仲間として輪を結び、母校の応援団としていろいろな行事に参加していきましょう。先ずは、平成26年6月7日(土)に開催予定の総会・(還暦・成人式のお祝い会有り)へのご出席をお待ちしています。母校で培った「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を誇りに、自分の目指す夢に向かって力強く生きていかれることを祈念します。

同窓会の発展を願って



貴同窓会の 益々の発展を!

理事長 寺部 暁

同窓会の会員の皆様におかれましては益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。また、学園創立100周年の折には外部の方から「安城学園らしい」というお褒めの言葉をいただきました。これは「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神が浸透している学園であることを感じ取っていただけたということで、卒業生の皆様のお陰であると改めて感謝申し上げます。

さて、現代社会の特色は「変化する社会である」ことです。学園では、卒業生がこれからの社会において十二分に活躍できるように「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の教育信条を常に念頭に置いて「無限の可能性に挑戦する若者を育成する」ために、新しい教育モデル「知・徳・体・行動」を開発して教育にイノベーションを興し、学園教育の100年の基礎を作ろうとしています。

最後に、「学校あつての同窓会、同窓会あつての学校」です。そういう意味で、貴同窓会が益々のご発展されることをご祈念申し上げるとともに、一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたしましてご挨拶に代えます。



“繋がり”“絆” そして“3つの挑戦”

校長 坂田 成夫

同窓会の皆様には、平素から母校のために多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本校は昨年度創立100周年を迎えました。創立記念行事として開催した各種企画では同窓会の方々にも多大なご協力を頂きましたことを御礼申し上げます。

同窓会の大きな役割はやはり“繋がり”と“絆”というものだと思います。東日本大震災がきっかけとなり社会の“繋がり”と“絆”が再認識されています。横でつながる意識が一人ひとりの中に広がれば、社会を変えていく力になっていくように思います。そうした意味でも同窓会に期待します。

安城学園高校は次の100年にむけて始動しています。生徒・教職員の皆様に提起しているのは「3つの挑戦」です。「第一の挑戦」とは、今まで取り組んできたけれどもうまくできなかったことを克服するための挑戦です。「第二の挑戦」とは、今まで取り組んできてうまくできたことをさらにレベルアップさせるための挑戦です。「第三の挑戦」とは、成功するか失敗するかやってみないと分からないけれども、今まで取り組んだことのないことに取り組んで未知の自分を発見するための挑戦です。今後とも地域の方に応援していただける学園、地域と共に歩む学園を目指してさらに精進して良い学園になるよう努力します。これからも学園のためにご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

第10回 安城学園高等学校同窓会総会を開催しました

日時 平成25年6月7日(土) 午後1時
場所 視聴覚室(西館)

●総会

- 1 開会のことば
- 2 同窓会会長あいさつ
- 3 理事長あいさつ
- 4 校長あいさつ
- 5 議長選出
- 6 議題
 - 1)平成24年度 事業報告
 - 2)平成24年度 会計報告・会計監査報告
 - 3)役員選出
 - 4)平成25年度 事業案
 - 5)平成25年度 予算案
 - 6)その他
- 7 来賓祝辞
- 8 お祝いの会(成人・還暦)
- 9 ミニコンサート(合唱部)
- 10 閉会のことば



▲寺部理事長

▲坂田校長

▲鶴田会長



▲ミニコンサート(合唱部)

安城学園高等学校同窓会

～平成24年度事業報告～

- 役員会..... (5月・11月・3月)
- 総会案内発送..... (5月)
- 100周年記念時計塔贈除幕式..... (5月)
- 幹事会..... (6月)
- 第9回 総会(お祝いの会・ミニコンサート)・懇親会..... (6月)
- 会報「おもいでくさ100周年記念」4号発行..... (6月)
- 「安城学園創立100周年の歩みと寺部だい生誕130周年展」..... (11月)
- 24年度 卒業生同窓会入会式..... (2月)
- 会報「おもいでくさ」5号発行..... (2月)

～平成25年度事業計画～

- 役員会..... (5月・11月・3月)
- 総会案内発送..... (4月)
- 幹事会..... (6月)
- 第10回 総会・お祝いの会(成人・還暦)・ミニコンサート..... (6月)
- 25年度 卒業生同窓会入会式..... (2月)
- 会報「おもいでくさ」6号発行..... (2月)

同窓会役員

顧問 寺部曉(理事長)、坂田成夫(校長)、
長谷川幸子(勿忘草会長)
会長 鶴田紀美子
副会長 松原美智子、安藤紀美子、
天野真弓、藤井京子
幹事長 浅井恵
書記 榊原ゆり、神谷良美、
岡田叔子、石田桂
会計 渡辺貴美、神谷美鈴、
会計監査 三井妙子、大久保一代

幹事

平成23年度 同窓会幹事	平成24年度 同窓会幹事	平成25年度 同窓会幹事
普1組 内園 奏子	普1組 柳生 真奈美	普1組 鶴田 菜々瀬
2組 梅原 裕里	2組 川澄 葵	2組 山本 真穂
3組 倉橋 奈津美	3組 石川 視貴	3組 高杉 玲奈
4組 山崎 小夏	4組 今宮 志穂	4組 北 遥佳
5組 川口 侑生	5組 坂本 ユウキ	5組 中村 有希
6組 成瀬 拓郎	6組 ラウリアノ ヒデオ	6組 園田 光司
7組 金澤 優	7組 佐藤 ひかり	7組 渡辺 梨華子
8組 川中 愛華	8組 黒田 真	8組 杉村 昭輝
9組 水野 慧	9組 日下 将聡	9組 濱田 樹
10組 犬塚 麻菜美	10組 池田 一成	10組 藤原 睦
商1組 大竹 みどり	11組 北川 拳士朗	11組 中西 浩平
2組 永谷 彩由美	12組 足立 英	商1組 島袋 レヒナ
	商1組 杉崎 愛也	2組 生駒 乃梨
	2組 飯塚 桃子	3組 阿座上 依子

卒業生からのたより

「輪」

佐野 照子(昭和44年度卒)



私は安城学園女子短期大学付属高等学校普通科卒業生で、おさげ髪が決まりであった頃のソフト部OGです。

インターハイ、国体を目指しこつこつと「一生けん命」部活動を頑張りました。厳しい練習もさることながら用具をリヤカーに積みグラウンドまで引っぱっていったことや、外野方向の用水にボールが落ち、たもですくい上げたことも懐かしく思い出されます。

共に汗を流し、共に笑い、共に涙したチームメイトとは、卒業時から今でもずっと毎年1月の第2日曜日に集まり、心のキャッチボールを続けております。

高校では叶わなかった全国優勝をママさんソフトボール大会で果たすことができました。今は母の形見の衣装で剣舞・詩舞を「一生けん命」に頑張っています。

学園生活で人としても大きく成長

山田 佐緒里(平成元年度卒)



安城学園での3年間は私の人間形成に大きく影響を与えたものでした。

ソフトボール部に所属し寮に入り、仲間と共に毎日真っ黒になりながら、厳しい練習に明け暮れ、目標に向かって全員で頑張っていくことの大切さやその中で自分の役割など社会で生きていく基礎を学べたと思っております。学校生活では自分の中の可能性を引き出してくれる先生方の温かい指導の下、多感な思春期を学園で過ごすことができたことを心から良かったと思っています。

現在、縁ありその学園に息子もお世話になっており、懐かしい先生方とも再会をすることができました。共学になり、学校へ来るたびに自分の時とは違う安城学園を見て、初めは戸惑うこともありましたが、「真心、努力、奉仕、感謝」の心は変わらず、生徒一人ひとりが生き生きと輝いているのを今は保護者として、卒業生として大変嬉しく感謝しております。自分も子供に負けず、様々なものにチャレンジし、まだまだ輝きたいと思っております。

大切なもの

加藤 直也(平成15年度卒)



私は、安城学園で3年間野球部に所属し先輩に勧められ、主将を任されました。今まで経験したことがなかったので、チームをうまくまとめられるか、引っ張っていけるか不安でいっぱいでした。

実際やってみて辛いことや投げ出したくなることも主将の大変さを実感しました。でも、やるからには自分が率先して行動を起こしていかなければと思い、やっているとみんなが自然についてきてくれました。チームメイトの支えもあってやりきることができました。

私がこの経験を通じて、今まで以上に仲間の大切さや感謝する気持を持つことができました。そして、自らが行動を起こしていく大切さも知りました。

現在、私は家業を継ぎこうした経験を生かし新しいことにも挑戦していこうと思っています。

「諦めない心」を

三原 綾乃(平成17年度卒)



私は安城学園バレー部の部員として3年間毎日必死に練習してきました。練習内容は厳しいものでしたが、仲間たちと励まし合い家族の支えがあってやりきることができませんでした。全国への夢は叶えることができませんでしたが、この3年間は私にとって一生の財産です。

現在は、小学校で五年生の担任をしています。あの頃に学んだ「最後まで諦めない心」、それを今、目の前にいる子どもたちに自分の体験談を踏まえながら教えています。それが今、自分にできる精一杯の安学バレー部への恩返しだと思っています。厳しく育ててくださいありがとうございました。卒業の時素直に言えなかった言葉、9年越しに言わせてください。「ありがとうございました」。

平成26年度 同窓会総会案内

平成26年6月7日(土)
13:00~14:00 安城学園高校 視聴覚室

多数のご参加をお待ちしています。

編集後記

輝かしい午年を迎え、安城学園高等学校の一層の発展と充実を願うと共に平成25年度の各部活・クラブ活動の功績に対して同窓会と致しまして心より敬意を表します。

会報6号が安城学園高等学校理事長様・校長先生のご支援ご指導を賜り発行できますこと心より感謝申し上げます。この会報を通して会員の皆様の繋がりを一層深めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願ひ致します。

平成26年度の同窓会総会を6月7日(土)に開催致します。幹事・会員の皆様の多数のご出席をお待ち致しております。

※会員の皆様の住所変更がありましたら
安城学園高等学校同窓会事務局までご連絡ください。